

国際交流で都立高校の魅力を発信

国際交流リーディング校一覧(平成30年5月認定)

学校名	国際交流に関する特徴
三田	カナダ、韓国、台湾、米国、シンガポールの学校と交流を行っているほか、各国から短期・長期の留学生が学校に滞在。ユネスコスクール活動やグローバル市民デーの開催等多様に展開。
六郷工科	自校の強みを活かした工業分野でベトナム、台湾、インドネシア等、アジア各国と交流。自校の生徒が将来、アジアでのものづくりにおける指導者となることを目指し、技術・技能教育を基盤とした交流を推進。
杉並	ニュージーランド、台湾などの学校と提携し、吹奏楽部を活用した交流などが盛ん。東京体験スクールによる留学生の受入や、国内外で語学の体験学習を多様に実施。
大泉	オーストラリアの学校との語学研修を含む交流や台湾への修学旅行、校内での英語スピーチコンテスト、オンライン英会話などを実施。ニュージーランドのオールブラックスとのラグビー交流も実施実績あり。
杉並総合	オーストラリア、台湾、韓国の学校と交流があるほか、常に身近に外国人がいる環境を作ることが目的とし、全ての年次で欧州やアジアなど多様な地域からの留学生を受入。「国際ボランティア」科目も設置。
北園	第二外国語教育が盛んで、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語を1年生から履修可能。オーストラリアの学校と交流を行っているほか、PASCH(ドイツ公認パートナー校)でもある。
白鷺	オーストラリアの学校との交流、台湾修学旅行を中心に相互交流。日本の伝統・文化教育やSTEM(理数系)教育と国際交流を融合。今年度は、スタンフォード大やシリコンバレーでの研修も実施予定。
町田	アメリカの高校やカリフォルニア大学等との交流を実施し、現地の日本語クラスの生徒とディスカッションやプレゼンテーションを実施。生徒だけでなく、教職員間の交流にも力を入れており、海外からの教職員の視察受入にも積極的。
青梅総合	ドイツの学校との交流、グアムへの海外修学旅行を中心に交流。ドイツ語、フランス語、中国語、ハンガール語を設置しているほか、今年度は「国際・文化」系列も新設。
武蔵野北	米国・台湾の学校と交流をもち、語学研修や修学旅行を実施。ルーマニア交響楽団や北京市の学校との交流、東京体験スクールの受入等も実施。その他、校内でEnglish Loungeの設置、英語での校内放送(English DJ)を実施する等、英語教育も盛ん。
小平	台湾、米国、オーストラリアの学校と姉妹校交流のほか、米国、オーストラリアには語学研修を実施。その他、部活動等を中心とした交流では、デンマーク等の生徒とも交流。3年の選択科目として中国語、韓国語、フランス語、ドイツ語、スペイン語を設定。
東久留米総合	韓国の高校との交流では、生徒に加え、教員も様々な情報交換を実施。開発途上国から日本の大学に留学している学生を招いた交流活動や、文化祭で日華曲部と茶道部が在住外国人を招いて体験講座を開催。
狛江	オーストラリアの学校との交流のほか、台湾への修学旅行を実施。インドからの留学生も在籍。東京外語大学等に在学する留学生との交流会も実施。
大島	農林科で栽培する、教育機関として世界唯一の国際つばき園における約380品種の椿をテーマに、英国、フランス、ポルトガルなどから国際椿学会の有識者の訪問を受入、交流。生徒は英語で椿ガイドや茶道のお点前を披露し、交流を実施。
桜修館中等	ニュージーランドの学校と交流しているほか、シンガポールへの修学旅行も実施。英語合宿や第二外国語(フランス語、ドイツ語、スペイン語、中国語、ハンガール語)の実施、韓国、台湾、マレーシア等からの視察や訪問団受入。

国際交流リーディング校の取り組み

都教育委員会では、国際交流に関する学校の実績・特色を評価し、都立学校の対外的な魅力を発信することにも、国際交流のモデル校として他の都立学校の国際交流に対する意識喚起や機運醸成を促進するため、2018年5月末に、都立校15校を「国際交流リーディング校」として認定した。要件は、姉妹校等、海外の学校と継続的に交流を行っていること、またはその予定があることや、留学生や海外の教員・生徒の訪問受け入れが可能であること、特色ある国際交流活動を行っていること等を認定の要件としており、リーディング校は今後、他校等への情報発信や都教委の国際交流事業への協力なども行う。各校とも多様な国際交流活動を行っているが、今回は3校の具体的な取り組みを紹介する。

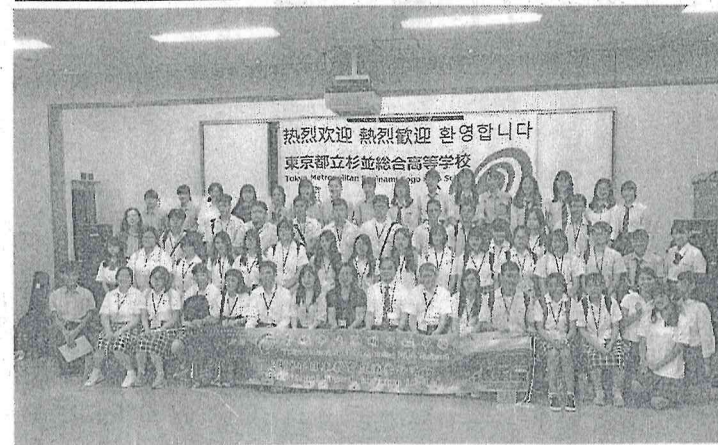
都立杉並総合高等学校校長 倉本武雄

安全を確保しながらも直接的な体験・経験を通して、心のつながる国際交流・協力活動を持続・継続しているのが、「ユネスコスクールの都立杉並総合高等学校」です。海外の学校との交流事例

①姉妹校交流

1986年に本校の前身である都立永福高等学校がニューサウスウェールズ州立フォートストリート校と姉妹校の提携を結び、88年から2018年まで隔年で20~30人の生徒が相互に行き来しています。

16年に台湾の内恵高級工業職業学校と姉妹校の提携を結び、その翌年には、短期の留学生を受け入れました。また、台湾の修学旅行の際には本校生徒が訪問し、交流を行



台湾・台北市立陽明高級中学の生徒たちを招いた国際交流会で記念撮影(2018年7月17日)

っています。中国語を履修している生徒にとつては、日頃の学習の成果を発揮する絶好の機会となっています。17年には、韓国の美林女子情報高等学校と姉妹校の提携を結び、その翌年には、韓国より生徒10人の来校がありました。今後、韓国語を履修している生徒が中心となつて、相互に交流できればと考えています。

②留学生の受け入れ

現在、オーストラリア、ハンガリーからの留学生がいます。18年9月からは、イタリアから留学生を受け入れる予定です。③海外の教員や生徒等による視察や訪問の受け入れ

海外の教員や生徒の受け入れは、1年間を通して実施していますが、入学試験の関係から年度前半に集中する傾向にあります。JENESYS日韓文化交流青少年訪問団、中国高校生訪日団など毎月のように海外(台

湾、韓国、中国、アメリカ合衆国、スウェーデン)から訪問があります。17年度は、アメリカ合衆国全土から集まったCIEEの高校生45人、引率教員5人の訪問を受け入れました。さらに、都教育委員会による交流事業の訪問も受け入れました。

一緒に本校の授業に参加して勉強したり、調理室でお好み焼きを作ったり食べたりして交流をしました。放課後は部活動の見学をし、茶道部の部活動では、実際にお手前も体験してもらいました。18年度は、台湾から台北市立陽明高級中学(普通科高等学校)、韓国から日韓文化交流青少年訪問団の訪問が予定されています。

異文化理解に関する教育課程上の特色

本校では国際理解教育に注力し、「目指す学校」のひとつに国際人の育成を掲げています。そのため、英語は1科目78講座設置しており、その他の外国語は、4科目12科目19講座設置していま

す。17年度からは、東京都で初めてとなる第二外国語(中国語または韓国語を選択)を必修化しました。

さらに、学校設定科目として、開発途上国の歴史や現状とボランティア全般について学ぶことのできる「国際ボランティア」という科目を設置しています。この授業から、これまでの4年間、NICEというNGO団体と

連携し、夏季休業中にインドネシアにある孤児院でボランティアを行う海外研修を実施しています。18年度も11人の生徒が8月にインドネシアに旅立ちます。

また、総合的な学習の時間においても、「人間と社会」の体験活動の中に国際交流・協力分野の講座を設置し、毎年、開発途上国を支援する活動を行っています。